

予算委員会・総務分科会長報告

令和2年6月23日（火）

予算委員会から総務分科会に分担されました議案4件につきまして、6月16日に分科会を開催し、審査を行いましたので、ご報告申し上げます。

承認第8号「専決処分の報告について（令和元年度松江市一般会計補正予算（第6号）」は、

掘削工事中のトラブルによる繰越とのことであるが、専門的な知見を有する者との打ち合わせや職員のノウハウが不足していたのではないかと質疑に対し、執行部より、今回の受注者は、過去に玉湯町内での温泉掘削に実績を持った事業者であったが、地層の状態など、予測が難しい面もあったと考える。今後、原因や責任分担などについては事業者としっかり詰めていきたいと考えている。現在は、経済産業省と相談し、国のトップレベルの技術者から知見をいただくことで、しっかりとリカバリーもできており、この経験を今後の業務に生かしていきたいとの答弁がありました。

次に、**承認第9号「専決処分の報告について（令和元年度松江市一般会計補正予算（第7号）」**中は、

知事・県議選挙費について、県支出金が大きく減少し、一般財源が増える理由についての質疑に対し、執行部より、選挙執行日が4月7日であったため、2年度にわたり経費を執行しているが、前年度に概算経費として県から受入れていた委託金を、今年度、事業費の確定に伴い精算したものであり、トータルでは執行経費の全額を県の委託金により賄っているなどの答弁がありました。

次に、**承認第17号「専決処分の報告について（令和2年度松江市一般会計補正予算（第1号）」**中は、

特別定額給付金は現在、対象世帯の概ね86%が申請済であり、未申請が約1万世帯とのことであるが、どのような方が未申請となっているかとの質疑に対し、執行部より、未申請者はご自身での申請が困難な独居高齢者の方や早期の申請を控えていた市職員・県職員などが中心であると考えている。今後、勸奨はがきの送付や地元の民生委員や福祉部局などの協力を得ながら、申請漏れの無いよう丁寧に対応していきたいと考えている。

次に、特別定額給付金事務費2億円の内訳についての質疑に対し、執行部より、事務費の主なものとしては、郵送料が約2,700万円、システム開発費が約2,500万円、振込手数料が約1,000万円などである。合計では1億円台前半で収まるものと見込んでいる。

次に、地方創生臨時交付金が有効に活用されるよう、対象となる事業の詳細を説明してほしいとの質疑に対し、執行部より、緊急経済対策の4本柱となる感染拡大防止、雇用維持と事業継続、経済活動の回復、強靱な経済構造の構築のいずれかに該当する事業で、本年4月1日以降に実施されたものが対象とされている。国から提供された個別事例集も研究し、部局を超えて連携しながら、必要なところに素早く支援が届くよう努めてまいりたいなどの答弁がありました。

次に、承認第18号「専決処分の報告について（令和2年度松江市一般会計補正予算（第2号）」中につきましても、質疑はありませんでした。

以上で 総務分科会の報告を終わります。